

SAGe の案内

荻塚 凌平

tyukasanlsbs@gmail.com
東京理科大学理学部第二部数学科二年

2016 年 5 月 22 日

発表の流れ

- 1 あいさつ
- 2 SAGe について
- 3 今後の予定
- 4 最後に

自己紹介

- 名前：葦塚 凌平 (にらづかりょうへい)
- 所属：東京理科大学 理学部第二部数学科二年
- 出身：北海道 函館ラ・サール高等学校
- 興味：微分幾何学

SAGe とは?

SAGe(Seminaire Analyse de Group epsilon)
=epsilon の数理解析ゼミナー

活動内容

- ① 数学書の輪読 (ゼミ)
- ② 個々による専門的な内容の講演会
- ③ epsilon での講演の発表練習

etc...

今回の紹介するところ

数学書の輪読

数学書の輪読とは

...数学書 (や理工書) を一冊決め、その本の中の内容を解釈し、お互いに意見を交わすこと。昨年度は

- ① ゼミの本はいくつかある分野の中からメンバーで相談して決定
- ② ゼミは隔週で行い、早稲田大学か東京理科大学で行った
- ③ 1回の発表で1節1人で発表した

SAGe2016 は

SAGe2016 では SAe2015 同様

- ① メンバーには読む本を、
チューターの提示をもとにみんなで相談して決める
- ② 隔週でゼミを行う (場所は現在相談中)

読む分野の候補

我々チューターは以下の分野の提示を考えています。
メンバーはこの提示をもとにみんなで相談します。

- ① 電磁気学/ベクトル解析
- ② 解析力学
- ③ 代数
- ④ 常微分方程式/力学系

今後の予定

- ① 五月末 : メンバーと読む本の決定
- ② 六月初頭 : ゼミ開始

最後に

SAGe では、普段大学では見つけるのが難しい
共に勉強する仲間を手に入れるチャンスだと思います。
是非この機会を生かして参加して仲間を作って頂きたいと思います。

ご清聴ありがとうございました